事前準備

１　避難所の開設について

　　新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、避難所における「３密」を避ける取り組みを実施することにより、避難所運営には通常よりも多くのスペースが必要となる。このため、事前準備を行い、感染症防止対策を講じた避難所対応を行っていく。

２　開設する避難所

　　南海トラフ巨大地震などの大規模災害時には、建物の安全確認が完了した施設から順次、避難所として開放する。台風や大雨などに備えて、一時避 難をする場合には、あらかじめ開設する避難所に加えて必要に応じて、順次開設する。

３　避難所レイアウトの検討

（１）避難所開設時の注意点

　　□　受付待機場所が確保できる。

　　□　避難場所を分散（個室や階を分ける）できる。

　　□　発熱症状や咳などの症状がある避難者の受入れスペース（観察ゾーン）と一般ゾーンの避難者用トイレや手洗い場が分散できる。

　　□　観察ゾーンと一般ゾーンの避難者が交わらない動線が確保できる。

（２）避難所開設方法等について検討

　　□　観察ゾーンの設置場所及び受付からの各スペースまでの動線の確認

　　□　避難所の閉鎖時の消毒箇所の確認

（３）感染症対策資機材等の確認（受付用・観察ゾーン用・一般ゾーン用）

　　・非接触型体温計　　・雨カッパ 　・マスク　・使い捨て手袋

・手指用アルコール　・避難所利用者登録票（Ｐ13・Ｐ14）

・健康チェックシート（Ｐ15）　・マスキングテープ　・養生テープ

・新型コロナウイルス感染症行動記録票（Ｐ17）　・霧吹き

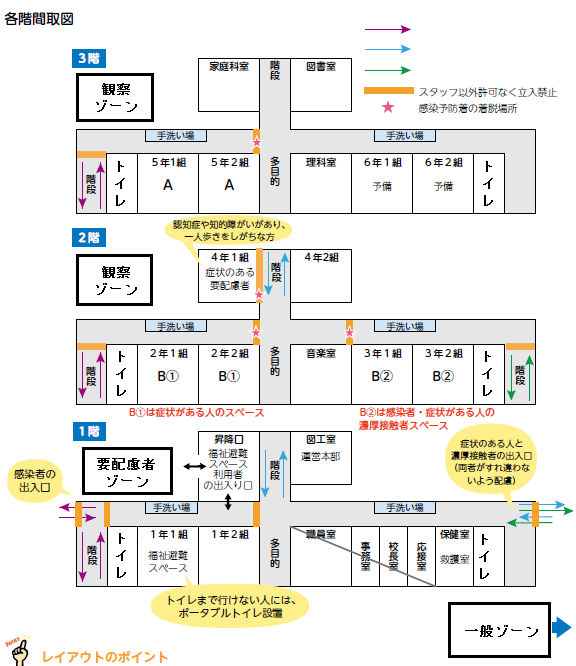
・ブルーシート　・フェイスシールド　・メジャー50ｍ

・コンベックス５ｍ　・換気用扇風機　・ビニール袋（ゴミ袋・靴入れ等）

・簡易間仕切り又はファミリールーム　・ふきん　・毛布

・ホワイトボード　・界面活性剤（マイペット）　・ハンドソープ

・カッター　・ハサミ　・鉛筆　等



レイアウトの参考例

出典：新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック（JVOAD）

**間取り図の例**